

日刊 動労千葉

84. 1. 12
No. 1537

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二二七二〇七

3・25根こそぎの割動員実現の 最先頭で闘う 青年部 元気がいっぱい 旗びらき

一月九日、各支部青年部員六五名を集めて、盛大に、八四年の年頭をかざる「青年部団結旗びらき」が開催された。

加田常任委員の司会ではじめられた第一部では、まず、本部・田中青年部長より、「八四年は何よりも三里塚の決戦の年だ。三里塚十八年の闘いを裏切り、土地の切り売りと条件派化策動、反対同盟分裂攻撃で敵対を深める脱落派を粉碎し、三里塚の勝利を決着づける年としよう」との年頭の決意がのべられた。

来賓として、本部より山口副委員長、船橋市議の中江さん、そして、三里塚芝山連合空港反対同盟・北原事務局長が、忙しいなかを駆けつけて下さり、それぞれより、新たな年にあたっての決意をいただいた。

とりわけ北原さんは、八日に現地Ⅱ岩山記念館で開かれた反対同盟の団結旗びらきが、闘いの十八年間のなかで最大の結集をかちとったことを報告したのち、「いよいよ決戦です。反対同盟は十八年間の闘いの原則を絶対守りとおし、勝利する。そのための重要な柱として、脱落派を絶対に許さないこと、二月芝山町議選に絶対に勝利すること、そして、三・二五現地闘争へのかつてない大結集をお願いしたい」と訴えられ、盛大な拍手がおくられた。

つづいて常任委員全員がせいぞろいしてそれぞれから闘いの決意がのべられ、新藤副青年部長による乾杯の音頭も元氣よく、第二部へ……。

第二部では、口もなめらかなになったところで、全支部青年部長が決意表明。なごやかなうちに交流を深め、重大な闘いの年にあたって、全参加者が決意をうちかためていった。

一九八四年、青年部は、動労千葉一三〇〇の最先頭で、団結してがんばるぞ！ 動労「本部」革マル、三里塚脱落派を粉碎して「国鉄反合一三里塚二期」決戦の爆発をかちとるぞ！ 「三・二五」動労千葉根こそぎの五割動員の先頭にたとう！



勝利への確信も固く、決意表明にたつ 田中本部青年部長。



全常任から、はちきれんばかりの決意がのべられた。



'84 旗びらき に結集 いよう

日時・一月十五日（日） 十三時より

場所・千葉県労働者福祉センター・大ホール

第一部・委員長あいさつ、各界よりの連帯のあいさつ及び決意表明、等。

第二部・鏡びらき、各支部対抗新春歌謡大会、等。

